

習慣が身を守る。

6月21日(水)・22日(木)に不審者対応に関する授業と、避難訓練が行われました。

21日には、荻野先生に実際に起こった事件の例をふまえて、緊急事態が起こったときにはどうすればいいのか、どのようにすれば被害を抑えられるのかについて、授業をしていただきました。何かが起こったときには、それに見合った特別な対応(避難する・部屋で待機するなど)が必要になります。そのときには、しっかりと指示を聞き「おはしも」を守って行動してください。

そして、忘れてはいけないのが、日頃の習慣が身を守る、という事実です。

目を見てあいさつをする、上靴に名前を書くなど、普段、「防犯のため」と意識していない行動も実はみなさんの安全を守っているのです。適当にしていたなと思う人、自分のためにも、周りのためにも自分の行動を振り返ってください。

☆被害を抑えるための6つのポイント☆

①日ごろから目を見てあいさつ!
見られているという意識を与える。
不審者に気づくきっかけになる。

②上靴に名前!
きれいな状態で、きちんと履く!
名前がないと誰かわからない。
つまずいてこける可能性がある。

③大声は危険信号!
本当に助けを求めている声が届かないこともある。

④放送・指示は黙って聞く!
正しい情報を得る手段が放送。
集団行動をとれないと被害が広がることもある。

⑤大人に報告!
自分で判断して対応しない。
近くの大人に相談を。

⑥逃げる!
犯人を刺激することは絶対×。
「おはしも」を徹底する。

みんなの感想より～こんな時どうする～

Q 校舎内へ不審者が侵入してきたら、あなたはどのようにしますか。

- ・落ち着いて、先生の指示や放送などを聞いて「おはしも」を守って逃げる。
- ・すみやかに先生に知らせる。
- ・近くの先生とできるだけはなれない。
- ・犯人を刺激せず、助けを求める。
- ・自分で対応しない。

Q 被害を抑えるために今後日々の生活の中で、あなたに出来ることはなんですか。

- ・学校の人や近所の人などにも、積極的にあいさつする。
- ・相手の目を見てあいさつする。
- ・上靴の名前が消えかかっているか確認したりする。消えかかっていたら書く。
- ・放送を聞いていない人がいたら教えてあげる。
- ・上靴をきちんと履く。
- ・怪しい人がいたら先生にいう。
- ・普段から先生の話を集中心して聞くようにする。
- ・避難経路のルート覚えておく
- ・普段から「きゃー」とか「助けてー」とかをふざけていわないようにする。

Q 6月22日の避難訓練をどのような気持ちで取り組みますか。

- ・真剣な気持ちで本番になってきちんと逃げられるように積極的に取り組む。
- ・自分たちが住む「大阪」で事件が起こっているので緊張感を持って臨みたい。
- ・練習でできないと本番にそれを出来ないのでは、そういうことを考えながらやる。
- ・誰かがしゃべっていたら注意する。
- ・世の中には常識が通じない人がいることを心の中に入れて取り組む。

当日の様子

静かに、速やかに行動できていました。
今回の流れを忘れずに、万が一の時にも落ち着いて対応しよう。

